

令和5年度 北海道デジタルチャレンジ推進事業

新しい介護の働き方を実現する 介護特化型マッチングアプリの活用による 介護人材不足の地域課題解決の実証事業

【概要版】

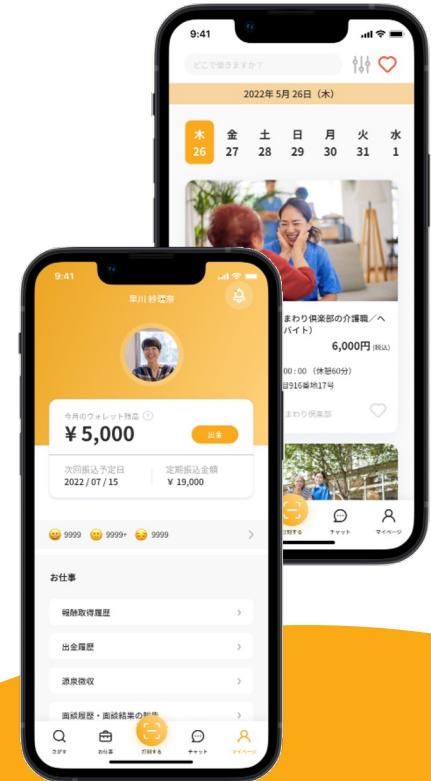
「介護マッチングアプリ実証事業推進」コンソーシアム



札幌市



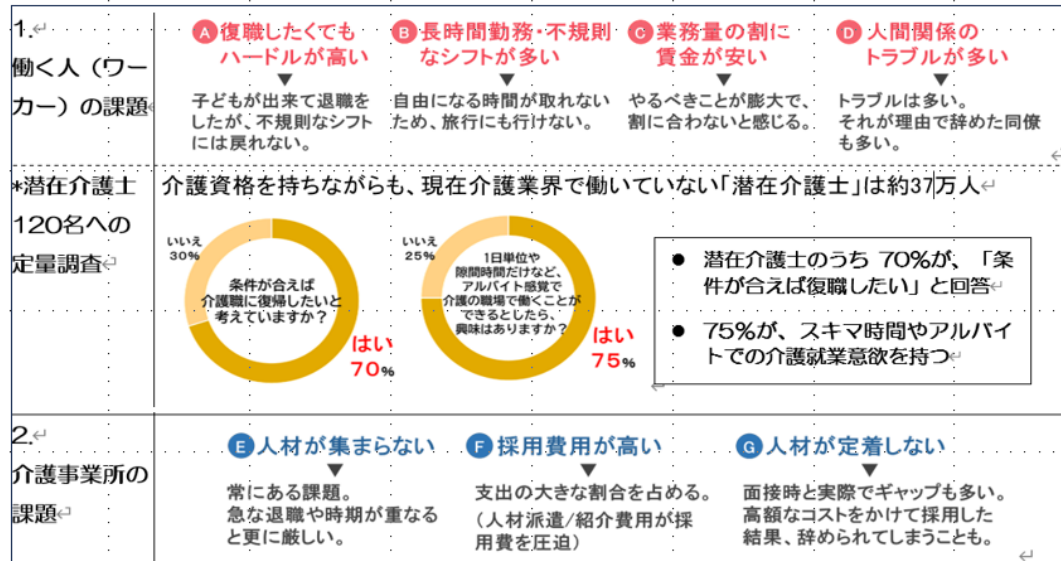
株式会社さくらコミュニティサービス



1.事業の背景・課題

「2040年問題、介護人材不足69万人」の衝撃 (介護人材不足のリアルな実態)

- 介護資格を持ちながら、現在介護業界で働いていない「潜在介護士」が全国で約37万人もいるという実態がある。
- 介護事業者では、人が集まらない、採用費用が高い、人材が定着しないというミスマッチが発生し、経営難や廃業に陥るケースが増加している。



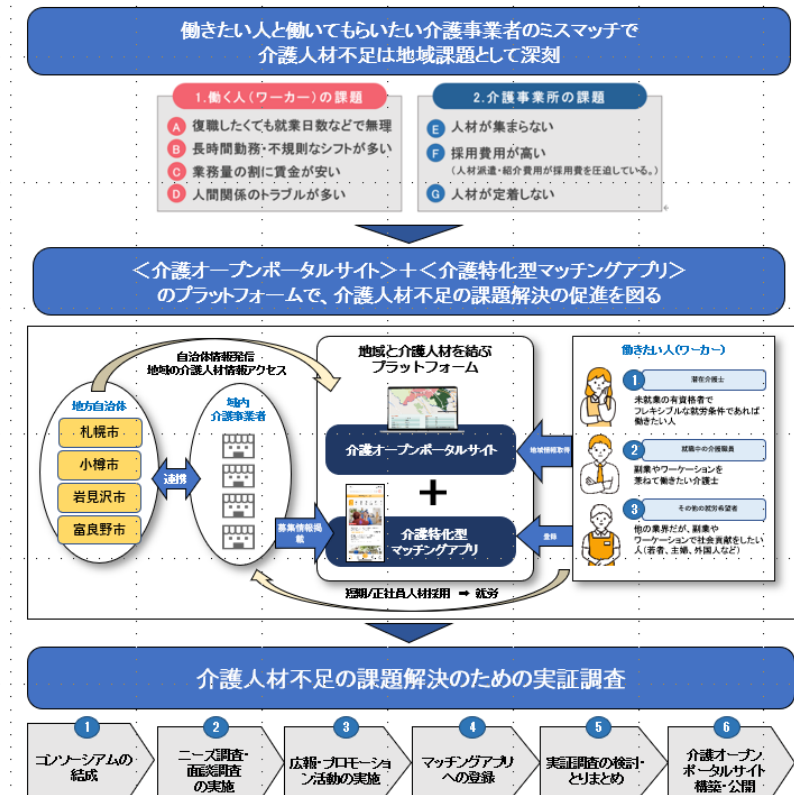
課題：
介護人材不足の解消

- 介護業界における働き方改革
- 潜在介護士、他業界、無資格人材の活用
- 多様な働き方の導入とミスマッチの解消

2.事業の骨格

介護人材を結ぶプラットフォームの構築

- ① <介護特化型マッチングアプリ>
- ② <介護オープンポータルサイト>



介護業界の働き方改革の推進と地域課題解決の実現

3.介護特化型マッチングアプリの開発

- 本事業では、＜介護特化型マッチングアプリ＞ベータ版に、スカウト機能や相互レビューの機能を付け加え、リリース版に完成させ、2024年1月22日（火）より公開した。公開後は、働きたい人（ワーカー）と介護事業者の登録を受け付け、両者のマッチングも行った。



マイページ画面

基本設定やワーカーのプロフィールの登録、働いた給金が振り込まれるウォレット残高の確認ができる。

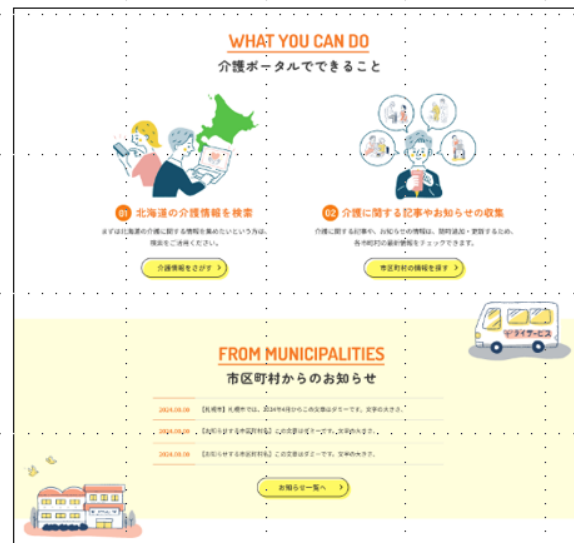


求人検索画面

介護事業所の求人情報が掲載され、場所や日程、日給、仕事内容など条件に合った求人が探せる。

4.介護ポータルサイトの開発

- 本事業では、介護ポータルサイトの構築も行った。各自治体は、地域の福祉施策や移住・ワーケーション情報などを掲載できる。また、本事業の調査で得た介護人材の調査情報の閲覧により、地域内の介護人材状況の実態の把握や地域課題の分析が行える。



ポータルサイトの説明

ポータルサイトでできること、調べることが可能な情報について説明するページを用意した。北海道の介護情報を検索したり、市区町村の介護関連の情報を閲覧できる。



情報検索画面

各市区町村の情報を条件ごとに検索できる画面。道内4エリアや市区町村、イベント情報などを選んで検索すると、地域の情報などが表示される。

5.広報・プロモーションによる普及・啓発活動の展開

- 本事業では、介護特化型マッチングアプリ及び介護ポータルサイトによる実証事業の周知を図ると共に、働きたい人(ワーカー)と介護事業者の介護特化型マッチングアプリへの登録促進を以下のメディア①～③などを活用して展開した。なお、これらのメディア以外にも、④コールセンターを活用した介護事業者への営業、⑤介護業界ネットワークによる周知活動、⑥参画自治体による広報などを併用した。

①TVコマーシャル

- コンソーシアムメンバーである北海道放送の枠を活用して、1月22日～2月29日まで15秒のTVコマーシャル、ラジオコマーシャルを放映し、実証事業の周知を図ると共に、働きたい人(ワーカー)の＜介護特化型マッチングアプリ＞への登録を促した、

| 実施期間 | 放映エリア | 放映回数 |
|----------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| 2024年1月22日(月) ～2月29日(木) | 北海道全域 青森県・岩手県北部(ラジオコマーシャルのみ) | TVコマーシャル:100回 ラジオコマーシャル:10回 |



②ネット広告

- コンソーシアムメンバーのソウルドアウト(株)により、InstagramやApple・GoogleのPlay Storeにネット広告を掲載した

| 実施期間 | 広告を掲載したメディア |
|-----------------------------|--------------------------------------|
| 2023年11月13日(月) ～3月15日(木) | Instagram Apple・GoogleのPlay Store |



③介護研修修了生22,000人への登録促進

- 代表団体(株)さくらコミュニティサービスが運営する介護士養成校の卒業生に対し、介護士養成校の公式LINEを使い、＜介護特化型マッチングアプリ＞の告知を行い、登録を促した。

| 実施期間 | 方法 | 回数 |
|----------------------------|-------------------|----|
| 2024年1月23日(火) ～2月29日(木) | 介護士養成校の公式LINEでの告知 | 5回 |

6. 実証事業の実施結果

- 本実証事業は比較的短い実証期間であったが、事前準備による地域課題の明確化と有効なアプリ機能の検討を実施のうえ、実証調査設計を行ったことにより、計画通りに実証調査を実施し目標指標を達成することができた。
- <介護特化型マッチングアプリ>の実用化により、本実証事業のテーマ『介護人材不足の解消による地域課題の解決』を推進する道筋の見通しを得ることができたと考えている。
- これにより、介護事業者の収益向上や、潜在介護士をはじめとする介護にかかわる新たな人材の雇用創出が図れ、他地域からの労働力の流入（移住等）や未就労（潜在介護士、主婦等）人材の働き先が創出され、地域の雇用拡大と経済効果が期待できる。また、自治体における介護サービス計画達成の一助を担い、地域の介護サービスの維持向上やサービスの安定供給への貢献が図れると考えている。
- <介護オープンポータルサイト>を同時活用することで、ワーケーション等の新しい介護の働き方や地域の魅力の発信を行い、地域経済の好循環に貢献が期待できる。

評価

- ① <介護特化型マッチングアプリ>の実用化により『介護人材不足の解消による地域課題の解決』を推進できる道筋を確認
- ② <介護オープンポータルサイト>も同時活用することで、新しい介護の働き方や地域の魅力の発信の足掛りを構築

7. 今後の課題

- <介護特化型マッチングアプリ>の事業化と広域への展開
→今回開発したアプリについては、利用していただくワーカー及び介護事業者の方々に一定の評価をしてもらった。一方では改善意見等もいただいており、更に機能改善により顧客満足度を高める必要がある。
- 本ビジネスモデルはワーカー及び介護事業者の登録数が多くなればなるほど有効性が向上するため、まずは北海道全域への展開、そして青森県アなど本州北部から全国展開を図る必要がある。
- 自治体と連携した<介護オープンポータルサイト>活用の促進
→ワーケーションの情報発信などで地域の移住・定住を促し、地域活性化を図る継続的な活動が求められる。本事業終了後も、コンソーシアムの独自事業により、<介護オープンポータルサイト>を運用していくことを計画している。



今後の課題

- ① <介護特化型マッチングアプリ>の事業化と広域への展開
- ② <介護オープンポータルサイト>の活用の促進